

■ 講演討論会「大規模物流倉庫の火災安全について考える」開催予告 ■

公益社団法人 日本火災学会
学術委員会

近年、インターネット等による通信販売の普及に伴い、大規模な物流倉庫が増加しております。他の用途に比べて可燃物量が多い倉庫では火災時の危険性および損害は大きくなり、また窓が少ない密閉空間の倉庫で火災が起こると外部から放水が難しく、広範囲での盛期火災になると消火活動が極めて困難となります。2017年2月に埼玉県三芳町で発生した大規模物流倉庫火災は、最終的な鎮火までに12日を要し、約45,000m²が焼損、近隣住民に避難勧告が出されるなど、前記の危険性が露呈した火災でした。端材室にあった段ボールの急速な燃焼による上階への延焼拡大、物品・可動コンベアの不作動による防火シャッターの閉鎖障害、電線ショートによる防火シャッターの不作動なども被害が拡大した要因として指摘されております。防火管理などソフト面での不備を減らすとともに、ハード面での対策も再検討しなければ今後も類似の火災が再び起こる可能性は否めません。

本講演討論会では、2017年2月に発生した大規模物流倉庫火災の概要、物流倉庫における防火区画の課題、消火設備の設置の現状、維持管理におけるポイントとその周知方法について、各分野の専門家にご講演いただき、講演後に大規模物流倉庫火災に対して今後必要とされる備えについて討論します。会員の方はもとより、消防関係者、建築設計・技術者、設備メーカーの技術者、倉庫関連施設の管理者、損害保険業界の方々などからも多数のご参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

記

日 時 : 平成30年1月26日(金) 13:00~16:30

会 場 : 文京シビックセンター 〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21

http://www.city.bunkyo.lg.jp/sosiki_busyo_shisetsukanri_shisetsu_civic.html

参加費 : 無料 (ただし、テキスト代 1,500円)

申 込 : 当日受付 (プログラム等の詳細は日本火災学会誌12月号でお知らせします。)

以上